

市長が行く

今後のワクチン接種について



茂原市長 田 中 豊 彦



7月16日現在、65歳以上の高齢者ワクチン接種は、ほぼ予定通りに進んでいます。ただ、6月後半から集団接種を3会場で行っていますが、市役所での接種枠はほぼ埋まるのです。長生郡市広域市町村圏組合管理棟、本納公民館（ほのおか館）の2会場では定員割れが出ていて、思つたようにいかないことに歯がゆさを感じます。そのため準備していたワクチンが無駄にならないように、エッセンシャルワーカーとして、職域での接種者を企業に依頼して急遽埋め合わせをするような形をとりました。それと同時に、今は50歳から59歳までの方を対象に、接種券を発送し、対応を始めているところであります。今回は年齢を区切って接種券を発送しています。

が、今後は、順次年齢の高い方から接種を進めていく予定です。いくつか問題は生じてはいますが、今のところ個別接種も集団接種もそれぞれ何とか順調に流れています。

ただ、今になってワクチンの量が大幅に減らされたため先行きが心配です。国はあれだけ早く接種を進めるよう地方自治体に無理を承知で押し付けておいて、今になつてワクチンが足りないとは、呆れるばかりです。とにかく、最大限無駄のないようにそれぞれの医療機関には、ワクチンが余りそうな場合にはぐくに連絡をいただき、こちらでエッセンシャルワーカーを充てるよう準備をしています。とにかく今は、スマーズなワクチンの供給を願つてやみません。

7月16日以後に長生郡市内で必要なワクチンの数を試算（接種率8割と仮定）したところ、151,665回分となりました。

ワクチンは、1ケースに195瓶入っております。1ケースあれば1,170回接種できることになります。8月29日までに供給されるワクチン数は国から公表されておりますので、現在の在庫数も加味すると、以降1クール（ファイザー社のワクチン配分における2週間を単位とする期間）ごとに10ケースずつ、12月5日までの7クールで合計70ケース供給されれば、長生郡市内の8割の方が2回ずつ接種できる計算になります。

菅總理、よろしくお願ひします。